



# 立西巻き

尼崎市立立花西小学校  
校長 笠井美香  
2025.5.30 (金)  
No.12

[ 校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより) ]

## 大きい「つ」か 小さい「っ」か。

「美香ちゃん。鐵尾美香ちゃんのとつおの「つ」は大きな「つ」？ それとも小さな「っ」？」と小1の時の担任、平松先生が私の苗字(旧姓：鐵尾)にある「つ」の大きさについてたずねました。

小1の美香ちゃんは、しばらく考えて

😊 「ふつうの「つ」♪」 とにっこり笑顔解答。 平松先生もししばらく考えて…

😊 「そうだね。ふつうの「つ」だね。」とにっこり笑って、黄色い絵の具バケツに名前を書いてくださった45年前のあの日のことは、今でも鮮明に覚えています。

大きい「つ」だと「てつお」になって、「つ」のとこだけ、大きな声で言うのは変やな…。

でも、小さい「っ」にすると「てっお」になって、これまた変やな…。



あ！！  
ふつうの  
「つ」や！！

となったわけですね。ははははは。  
「ナイス解答！」と1年生の美香ちゃんには座布団10枚をあげたいです。



大きい「つ」か 小さい「っ」か。これは、非常に難しい問題です。

「ぼくは、しょうがつこうで、やきゆうをならつています。」 小さな「っ」「よ」。

「おおかみの「お」が2つあるのに、おとうとは「う」だ…。なぜ…。」 難解です。

実は言葉のきまりがあるのです。

そのルールは、なんとなく大きくなればわかるというものでもなく、6年生になっても、間違っただまの子どもはいます。5月の学校だよりでもお知らせしましたが、本校では、学習の基盤となる言語能力の育成の手立てとして、1, 2年生の「こくご」の読みの指導において、多層指導モデルMIMを6年前より導入しています。多層指導モデルMIMでは、子ども達が特につまずきやすい「特殊音節」(促音、長音等)に焦点をあてた指導をしていきます。国の研究機関で研究された指導法です。

そして、毎月、MIM-PM という1分間のアセスメントで、子ども達の状況を詳細に把握しています。言葉の習得のつまずきを早期に発見し、早期に支援を実施することが可能となるわけです。アセスメントは2種類あります。どちらも1分間しか実施しません。ぜひ、裏面のアセスメント①に挑戦してみてください。

右上の写真は、2年生が4月末のアセスメント1分間に挑戦する姿です。椅子からお尻をあげ、1分間、ひっしりに取り組む姿。がんばる子ども達の一生懸命な姿に私達もこたえたいと思います。多層指導モデルMIMの指導法活用を学力向上の一助とし、文がスラスラと流暢に読めるようになる子ども達を育てていきたいと考えています。1年生は、4日の学校公開で、促音指導「っ」をすると聞いています。ぜひ、ご参観ください。

それから…。てつおみかちゃんの「つ」は大きな「つ」か小さな「っ」か。はたまた、ふつうの「つ」か…。「そうだね。ふつうの「つ」だね。」とにっこりしてくれた平松先生は、私に「先生」になりたいと思わせたい一番目の担任の先生です。「自創協創～になりたい自分を創る 共に協える～」のきっかけとなった大人です。